

Pervasive PSQL v11 SP2 既知の問題

一般リリース - 2012 年 6 月

既知の問題

Pervasive PSQL v11 SP2 の一般リリースでは以下の問題があります。このリリースに含まれるバグ修正リストについては、エージーテック Web サイトで修正履歴を参照してください。

クライアント リクエスター / 通信

トラッキング番号	説明
57018	PCC は、[スペースを含むファイル / ディレクトリ名] 設定に "Windows 32 ビットのみ" と誤って示しています。
57586	クライアントとサーバー間の通信セッションが無効な場合に、ステータス 170 が返されます。
59491	Pervasive 自動再接続 (PARC) は NetBIOS プロトコルのみが設定されている場合、再接続しません。
59964	リレーショナル エンジン、リッスン IP アドレス フィールドの最初のアドレスのみを待機します。

ドキュメント

トラッキング番号	説明
58262	Visual Basic プロジェクトに ActiveX コントロールを追加する方法の説明が適切ではありません。

国際化

トラッキング番号	説明
57338	DTI の PvModifyDatabase() 関数を使用して、データベースと小文字の非 ASCII 文字をバインドできません。

インストール

トラッキング番号	説明
55591	インストール後、インストール時に無効にした機能が [プログラムの追加と削除] または [プログラムのアンインストール] の [変更] オプションに表示されます。
55692	PSQL アプリケーションおよびサービスは、Windows Vista 以降のシステムでは再起動マネージャーに登録されません。
55932	ハイコントラスト設定の場合、インストーラーのようこそ画面と完了画面のテキストが読みづらくなります。
56018	インストールは、PDAC SDK をアンインストールするように要求しません。
56300	クライアントでは使用できない bdu コマンドラインユーティリティが、v11 client32 ユーティリティによってインストールされます。
56496	v9 から v11 へアップグレードを行うと、v9 用の環境変数がクリアされません。
58042	EclipRCP.cab ファイルが存在しないと、コマンドラインからの修復が失敗します。
58045	PSQL のアンインストールは、システム上で保留になっている再起動をチェックしません。
58102	PSQL サーバーのインストールは、以前のバージョンのカスタム構成された WGE サービスの実行を検出できません。
58420	サービスが開始された後、インストールのキャンセルロールバックを呼び出すと正しくロールバックしません。
58427	Windows 7 で、128 バイトより長いインストール先パスを使用してカスタムインストールを行うと、MicroKernel がクラッシュします。
58626	Linux x64 クライアントのアンインストールは、.../psql/bin フォルダを削除しません。
59667	MFC.DLL/MFCU.DLL が PSQL インストールフォルダから読み込まれるたびに、アプリケーション イベント ログに "SideBySide" エラーが記録されますが、機能上の副作用はありません。Microsoft は http://social.msdn.microsoft.com/forums/ja-JP/vcgeneral/thread/3b69bdfc-a1cf-4af8-a2cc-d5c7ba362fdb でバグとして説明しています。MFC.DLL および MFCU.DLL が依存している "Microsoft.VC80.MFCLOC" のバージョンが、VS2005 SP1 に付属する MFC ローカル アセンブリの実際のバージョンの "8.0.50727.762" ではなく、バージョン "8.0.50608.0" であると間違っ て明示されます。

トラッキング 番号	説明
59717	v10 からのアップデート インストール後にアンインストールを行うと、いくつかのファイルが残ります。
59828	MSI が昇格されていない場合、MSI を使用したインストールは Windows Vista 以降のシステムでは失敗します。 回避策：実行する前に MSI プロセスを昇格してください。
59869	Client32 と Client64 をアンインストールすると、レジストリに RCP フォルダーが 2 つ残ります。
61375	<p>Windows サービスとしてインストールされた v10 SP3 ワークグループ エンジンまたはクライアント キャッシュ エンジンから、v11 ワークグループ エンジンまたはクライアント キャッシュ エンジンへサイレント アップグレードすると、エンジンがトレイ アプリケーションに変換されます。</p> <p>回避策：Windows サービスとして実行されている PSQL v10 SP3 ワークグループ エンジンまたはクライアント キャッシュ エンジンを、サイレント インストールを使用してアップグレードできるようにするには、サイレント アップグレードを実行する前に、PSQL セットアップの構成ファイル (ptksetup.ini) の "PROPERTIES" セクションで、以下のいずれかの設定を指定します。もしくは、Windows インストーラーの、実行されるサイレント コマンド ラインの部分で設定を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ PSQL クライアント キャッシュ エンジンを Windows サービスとして実行している場合は、次のプロパティ設定を指定します。 PVSW_RUN_CCE_AS_SVC=Y ◆ PSQL ワークグループ エンジンを Windows サービスとして実行している場合は、次のプロパティ設定を指定します。 PVSW_RUN_WGE_AS_SVC=Y

MicroKernel エンジン

トラッキング 番号	説明
56059	クエリのパフォーマンスが、ブランク データ ページによって低下しました。
56363	<p>Windows Vista または Windows 2008 で 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスすると、ステータス 85 (ファイルはロックされている) になります。</p> <p>2 つのアプリケーションが 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスした場合、2 番目に開いたアプリケーションはステータス 85 (ファイル ロック) になります。たとえば、一方のアプリケーションが C:\ProgramData\Pervasive Software\PSQL\Demodata\Class.mkd を開き、もう一方のアプリケーションが C:\Users\All Users\Pervasive Software\PSQL\Demodata\Class.mkd を開いた場合、データベース エンジンからステータス 85 が返されます。</p> <p>回避策: ファイルを開いてアクセスする際、どちらにも同じパスを使用します。</p>
58003	システム キー (インデックス 125) の B_GET_EQUAL オペレーションは、8 バイトしか渡されなくても、入力キー バッファの 244 バイトをコピーします。他のインデックスではこの問題は発生しません。
58439	システム エラー 604.0.23 (I/O エラー) はファイル名が記録されません。
58686	<p>大きなシステム トランザクションで MicroKernel がハングします。</p> <p>回避策: 多数のより小さいトランザクションをコミットします。</p>
58720	MKDE は、ファイルがバックアップ ソフトウェアによって読み取られているとき、ファイルを読み取り専用で開きます。
58906	ロール フォワードは、クライアントによって排他モードで開かれたファイルでエラー 88 で失敗します。
60104	カスケード削除によって MKDE がハングします。
60786	Windows パフォーマンス モニターの [Waits on Page and Record Locks] カウンターで、レコードのロック数が正しくカウントされません。
61173	Windows パフォーマンス モニターの [Waits on File Locks] カウンターで、ファイルのロック数が正しくカウントされません。
61283	通信スレッド数が 256 より大きい数値に設定されていると、すべてのリモート通信が失敗します。

サービス

トラッキング番号	説明
55946	データパスを 150 文字まで設定すると、Pervasive PSQL サービスは開始しません。

SQL

トラッキング番号	説明
54781	Print ステートメントを含むストアド プロシージャまたはその他の GUI ツール (ODBC テストなど) を PCC 内で実行すると、ツールがハングします。 回避策 : PSQL リレーショナル エンジンのサービス プロパティを [デスクトップとの対話をサービスに許可] に変更します。このオプションは、サービスの [プロパティ] 画面の [ログオン] ペインで設定できます。
55768	バウンド データベースの保護は、既存のファイルを正確にスタンプしません。
55807	DROP DATABASE はユーザー セッションを無効にします。別のデータベースへ切り替えようとしても失敗します。
56108	Linux で 129 バイト以上のパスワードを持つユーザーを作成すると、エンジンがクラッシュします。
56111	GRANT LOGIN クエリに 128 バイトを超えるパスワードを指定した場合、v2 メタデータを含んでいるデータベース (注意 : v2 メタデータのパスワードの最大長は 128 バイトです) に対するユーザーの作成 / ログインは成功しますが、パスワードは 128 バイトに切り詰められて X\$User システム テーブルに保存されます。
57076	異なるエンコードのクロスデータベースから引き出されたデータは破損しています。
57216	データベース コード ページ設定の変更は、すべての接続を閉じるまで有効になりません。
57330	オーナー ネームに 24 文字を超える値を設定すると、間違ったメッセージが返されます。
57345	SQL エンジンはインデックス定義を既存の Btrieve キーと一致させません。
57362	UTF8 データベースを ODBC 変換する際に空白の埋め込みが調整されません。

トラッキング番号	説明
57372	リレーショナル エンジン は国際的な文字を大文字に変換します。
57385	SQLForeignKeys() は、ヌル ポインターの不正使用に HY009 ではなく HY000 を返します。
58404	データベースを削除して再作成する場合、以前に作成した DDF が存在していると、データベースの再作成が失敗する場合があります。
58630	MS Access 2007 から "レコードが大きすぎます" エラーが返る場合があります。
59543	ビューを保存すると、ユーザーによって指定された列名が失われます。
60361	あるデータベースに対する ALTER TABLE 操作が、別のデータベースの SELECT クエリに干渉します。

システム ドライバー

トラッキング番号	説明
56575	XIO は Microsoft クラスタ環境ではサポートされません。

ユーティリティ

トラッキング番号	説明
54434	PCC SQL Editor のテキスト モードは、1 つのビューの詳細しか表示しません。
54446	DDF Builder では ISR (国際的なソート規則) を使用するファイルのテーブル定義の作成ができません。DDF Builder は現在警告を出しません。 データ ファイルが ISR を使用しているかどうかの判定方法 : キーに ACS フラグの 1 つがある場合は、その ACS の 265 バイトを調べます。 シグネチャ バイトが 0xAC の場合は、ユーザー定義 ACS です。 シグネチャ バイトが 0xAD の場合は、ローカル固有の ACS です。 シグネチャ バイトが 0xAE の場合は、ISR です。
54785	BDU ユーティリティは、セキュリティで保護されたデータベースのパスワードが 111 文字を超える場合には失敗します。

トラッキング 番号	説明
54990	<p>VNC (仮想ネットワーク コンピューティング) セッションで PCC のいくつかの構成設定が失われます。</p> <p>回避策: データベース エンジンを作成するには、そのエンジンのコンソールで PCC を直接使用するか、VNC 以外のリモート デスクトップルールを使用します。</p>
55321	<p>PCC のグリッドは非常に多くのフィールドを持つテーブルを表示できません。</p> <p>回避策: ビューまたは SELECT ステートメントを使用して、グリッドに表示するフィールド数を制限します。</p>
55396	<p>PSA の [ロード済みの Pervasive モジュールを表示する] 機能は、64 ビット Pervasive PSQL コンポーネントをリストしません。</p>
55960	<p>DDF Builder は、別のプロセスがエクスクルーシブ モードで開いたままのファイルを開こうとするとエラーを受け取ります。</p> <p>回避策: 別のプロセスがファイルを開いていないことを確認します。</p>
56051	<p>PCC で、保護されたデータベースの [バウンド] プロパティを設定すると、一般エラーが発生します。</p>
56490	<p>Rebuild GUI ユーティリティのキャンセルが機能しません。</p>
56633	<p>DDF Builder では 119 を超えるインデックスを持つファイルを保存することができません。</p>
56634	<p>DDF Builder はセグメントがオーバーラップしているファイルに不正な定義を作成します。</p>
56681	<p>64 ビット Linux で DDF Builder プラグインを起動すると内部エラーになります。</p>
56779	<p>PCC は、Linux 上の FedoraCore8 で新規テーブルの追加時にクラッシュします。</p> <p>これは、Sun の JRE における既知のバグに起因します。</p> <p>回避策: 次のコマンドを使用していくつかの機能をオフにします。</p> <pre>sed -i 's/XINERAMA/FAKEEXTN/g' \$JAVA_HOME/lib/i386/xawt/libmawt.so</pre>
56842	<p>CNVDDF.exe はステータス 357 を返して辞書を変換しません。</p>
56855	<p>ログイン名 "Master" が Linux 上の PCC では Windows のように表示されません。</p>
56857	<p>Linux 上の PCC で 1 つの列を選択すると、グリッドは列のデータの幅ではなくグリッド全体のスペースを使用します。</p>

トラッキング 番号	説明
56878	PCC でいったんコレーティング シーケンスを指定すると、削除することができません。
57056	Btrieve ファイル / キー仕様の作成ページはスクロールしません。
57070	仮想環境で DDF Builder を使用すると、SQL インデックスのペインが非常に小さく、ほとんど見えません。
57077	DDF Builder は GUID のプレビュー値を表示しません。
57088	DDF Builder は、1 つの複数セグメント キーを持つファイルで定義を作成しようとしてもエラーを表示しません。
57093	テーブル定義エディターのヘルプ リンクはエラー ダイアログを表示します。
57111	DDF Builder は demodata に対して Btrieve スキーマをリモートにインポートしません。
57210	Linux では、PCC の [すべての SQL ステートメントを実行する] へのホット キー F10 は機能しません。
57230	PCC でビューを作成した直後にはそのビューを実行できません。
57255	Windows DDF Builder は、リモート Linux サーバー上の 5x ファイルを認識しません。
57257	グリッドにデータを読み込む際に表示される進行状況ダイアログでは [キャンセル] ボタンが使用できません。
57265	Linux サーバーにアクセスするリモートの Windows DDF Builder は、エクステンションファイルを持つ大きなファイルを表示できません。
57271	DDF Builder を使用してリモート マシンから Btrieve スキーマをエクスポートすることができません。 回避策：ローカルでスキーマをエクスポートします。
57310	SuSE 10.1 で、PCC は "line4: 5502 異常終了" というメッセージにより終了します。これは SuSE 10.1 GTK コントロールで既知のシステムの問題です。
57334	butil @commandfile では引用符で囲まれたパスを正しく使用できません。
57335	DDF Builder はデータベース チェック中に、オーナー ネームを持つテーブルのオーナー ネームを、キャンセル操作をしても何度も要求します。

トラッキング番号	説明
57343	DDF Builder を使用して Btrieve スキーマをリモートにインポートする際に問題が発生します。
57345	PCC で行の追加後のグリッドのリフレッシュでエラーが発生します。
57414	PCC で、セキュリティで保護されたデータベース内のテーブルのプロパティを表示させると、"20: セッションのセキュリティ エラー" が表示されます。
57418	64 ビット Linux サーバーが Unix 認証であるとき、Windows クライアントの Monitor でユーザー情報などが文字化けしています。
58150	PCC GUI は数値データ型の小数位の入力時、精度より入力範囲のみをチェックします。
58170	[最小の状態に戻す待ち時間] の単位はミリ秒と表示されますが、マニュアルでは秒と説明されています。
58171	bcfg の [最小の状態に戻す待ち時間] の範囲の説明が間違っています。
58173	DateTime のプレビューはミリ秒値を表示しません。
58197	トリガーで ORDER を指定すると、実行が無視される場合があります。
58237	clilcadm.exe からの呼び出しでエンジンが開始しません。
58268	CLI の License Administrator はユーザー名とパスワードなしで別のサーバーに接続できますが、GUI の License Administrator ではできません。
58287	DDF Builder は SUSE 11 上でログ ファイルを開けません。
58303	w64clilcadm はローカル エンジンが存在しない場合 (client64 がインストールされている場合)、clilcadm と異なるメッセージを表示します。
58341	PCC は、ストアド プロシージャの実行から生じる無限ループを停止できません。
58379	PCC の [ファイルを開く] ダイアログ ボックスのファイルの種類が正しくありません。
58493	DDF Builder プラグインに関する署名情報の表示は、日本語システム上でも英語で表示されます。

トラッキング番号	説明
58524	DDF Builder はディレクトリが存在しない場合、デフォルトのオプションまたは推奨されるオプションで新しいデータベースを作成できません。
58543	エンコードを設定すると、PCC がクラッシュする場合があります。
58545	XIOStats の " (CSV) ファイルを開く " のエラー メッセージは、日本語システム上でも英語で表示されます。
58602	製品キーを認証解除するとき、CLI の License Administrator は誤った 7317 エラーを返す場合があります。
58611	DDF Builer の [テーブルの確認] は、LONGVARCHAR 列を警告と見なします。
58738	RBLDCLI は、クライアントからリモート ファイルを扱えません。
58938	PCC は、サポート プロトコルの設定を正確に反映しない場合があります。
59018	pvmdconv ユーティリティは、v1 データベースを v2 データベースに変換するときに外部キーが定義されていると、壊れた v2 データベースを作成します。 回避策：v2 で SQL テーブルとデータベースを再作成し、データを読み込んでください。
59092	PCC 接続エンコードが「自動変換」になっている場合、Linux 上で許可される文字列の長さが間違っ て計算されます。
59131	Function Executor は RESET オペレーションを発行後、" 読み込み違反 " 例外が発生する場合があります。
59539	Function Executor のオーナー ネームのクリアは、正しいオーナーネームが提供されても " 不正なオーナー ネーム " メッセージを返すことがあります。 回避策：オーナー ネームを指定してファイルを開いてから、オーナー ネームをクリアしてください。
59852	DDF Builder は、検出できない Btrieve ファイルを「SQL テーブル」に表示しません。
59952	PCC のテーブルの編集の [SQL ビュー] では、CREATE INDEX ステートメントがキー順ではなくアルファベット順になっています。
59978	PCC は、[クエリ] タブを選択しただけでクエリを実行します。
60046	Linux の GUI Phone Activation ユーティリティは、タイムアウトに長い時間がかかります。

トラッキング番号	説明
60108	TIMESTAMP および DATETIME の値 '1900-01-01' は、PCC では '0000-00-00 00:00:00.000' と表示されます。
60384	ライセンスは、およそ 55 ライセンスで GUI から消えます。
60400	DDF Builder の [テーブルの確認] は、コレーティング シーケンスが設定されたテーブルに対してエラーを返します。
60700	PCC のデータベースおよびエンジンのツリー ビューが見えなくなる場合があります。

ソフトウェア開発キット (SDK)

ActiveX

トラッキング番号	説明
52378	リモート ホストへの接続後や切断後でも、VAccess プロパティは前に接続していたデータベースのテーブル名と選択したフィールドを表示します。
52379	DdfPath、Location、および Join ボタンはキーボードからは操作できません。
53342	ActiveX コントロールは LONGVARCHAR 型フィールドを更新しません。既存のデータを読み取り、フィールドの変更や、更新/挿入を行うとステータスは成功を返しますが、フィールドは変更されていません。
53378	ActiveX は BigInt 値の全範囲をサポートしません。
53784	ActiveX は GUID/UNIQUEIDENTIFIER データ型をサポートしません。
53785	ActiveX は DateTime データ型をサポートしません。

Btrieve

トラッキング番号	説明
59783	Btrieve オペレーションで '@' 文字のない URI を使用した場合、Windows と Linux で異なるステータス コードが返されます。

DTI

トラッキング番号	説明
55423	PvCopyDatabase() は、参照整合性 (RI) が設定されているデータベースでは RI レベルに関係なく機能しません。PvCopyDatabase API は RI 制約を持つテーブルを適切にコピーできません。コピーされた RI 制約を持つテーブルは、開こうとするとステータス 73 を返します。
58153	DTO と DTI の列挙型に、数値の偶数桁フラグが記載されていません。

DTO

トラッキング番号	説明
52546	オブジェクトブラウザーに DtoSession.Property (dtoAccessRights)、DtoSession.Property (dtoConnectionType)、DtoLicenseMgr.Licenses コレクションが表示されますが、本リリースでは実装されていません。
52548	DTO は以下の機能を持ちません。PvGetTableStat()、データベースの Btrieve セキュリティ ポリシーを示すデータベース フラグ (P_DBFLAG_DBSEC_AUTHENTICATION、P_DBFLAG_DBSEC_AUTHORIZATION)。
58153	DTO と DTI の列挙型に、数値の偶数桁フラグが記載されていません。

JCL

トラッキング番号	説明
58323	JCL SDK パッケージに PVIDEODB の dbbackup フォルダーと中身がありません。

JDBC

トラッキング番号	説明
56564	64 ビットバージョンの JRE で JDBC を使用すると、例外がスローされます。
57926	JDBC は DATE、TIME、および TIMESTAMP を、期待される java.sql.Types 91、92、93 ではなく java.sql.Types 9、10、および 11 として返します。

OLEDB

トラッキング番号	説明
55994	Pervasive OLEDB プロバイダーは " 混合 " モード セキュリティのデータベースでは動作しません。 回避策 : MSDASQL プロバイダーを使用してください。
58146	Pervasive OLEDB を使用する .NET アプリケーションの実行中にメモリリークが発生します。

PDAC

トラッキング番号	説明
48812	DefaultDB にセキュリティが設定されていると、PDAC はデータベースに接続できません。
57363	PDAC は BIGINT データ型をサポートしません。 BIGINT データ型は 8 バイトの整数です。PDAC は BIGINT を SQL_DECIMAL にマップして、SQL_C_CHAR 型としてデータを操作します。
59437	PDAC の PvTable は、v2 メタデータを使用するテーブルをリストすると、ステータス 12 を返します。